



持続可能で強靱な社会の実現は研究基盤から！



研究環境改革をオールジャパンで推進する機能強化ハブとして
皆様と共に議論を展開する1週間

研究基盤EXPO2024

2024年1月22日(月) ~ 2024年1月26日(金)

主催 一般社団法人研究基盤協議会 (CORE)
共催 文部科学省
協力 株式会社島津製作所、日本電子株式会社、株式会社日立ハイテク
後援 一般社団法人日本分析機器工業会 (JAIMA)

主催



共催



協力



後援





2024年1月22日 オープニング

開会挨拶

研究基盤協議会 代表理事・会長
江端 新吾 (東京工業大学)



プログラム紹介

研究基盤協議会 理事・副会長
岡 征子 (北海道大学)



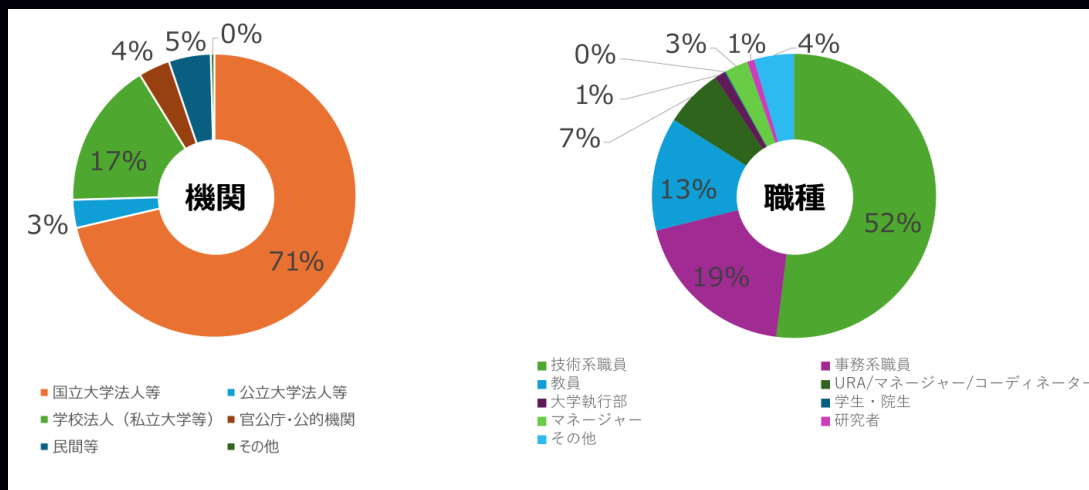
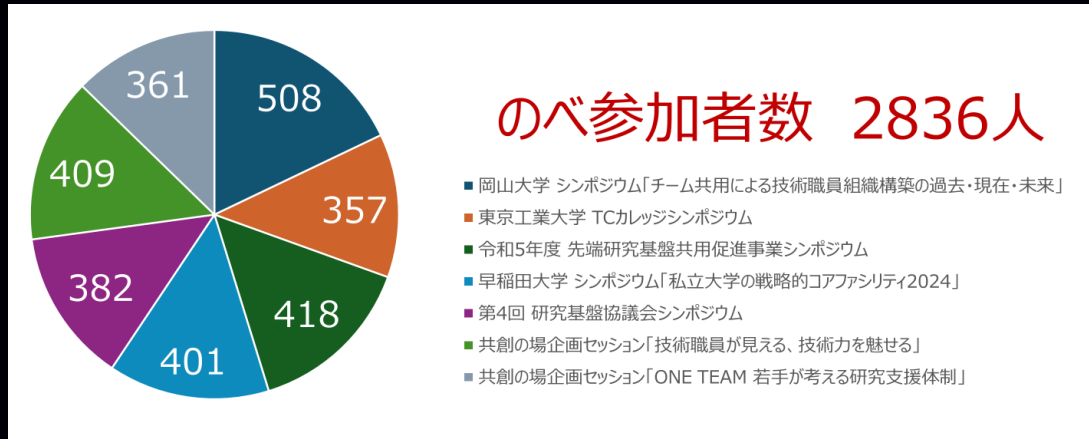
来賓挨拶

文部科学省科学技術・学術政策局 局長
柿田 恭良



司会

研究基盤協議会 理事
林 史夫 (群馬大学)



2024年1月22日

岡山大学



2023年度春に総合技術部を設立した岡山大学。研究基盤の要となる技術職員の組織構築をテーマに、組織化の学内調整やチーム共用体制の検討等、組織の組成・運用での生みの苦しみやワクワクなどを事例紹介。これから組織化を検討する大学へ向けてのメッセージも届けられた。

主催：岡山大学
共催：CORE、東京工業大学、山口大学、琉球大学



◇総申込者数：510名
(現地参加：81名、オンライン参加：429名)



2024年1月23日 東京工業大学

TCカレッジ コアファシリティ構築支援プログラム 成果報告 研究基盤EXPO2024

東京工業大学
オープンファシリティセンター
TCカレッジシンポジウム
～TC取得者の活躍と出口戦略の展望～

2024年
1月23日 火 10:00-12:00
オンラインZoomウェビナー

参加費無料
どなたでも
ご参加
いただけます

研究基盤戦略を牽引する高度技術専門人材の称号であるTC（テクニカルコンダクター）を令和4年度に初めて認定したTCカレッジ。
TC取得者の活躍の場を広げる出口戦略の紹介やTC取得者の研究現場での活動状況の報告に加え、産学官協働によるオールジャパン人材養成システムに対して、TC取得者に求めることなどが議論された。

主催：東京工業大学
共催：CORE

オープニング



第二部座談会「TCの出口戦略を支える取り組み」

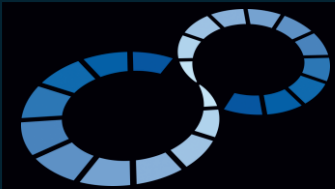


第一部座談会「TCを目指す意義と責任」



クロージング





2024年1月24日

早稲田大学

研究基盤EXPO2024

シンポジウム「私立大学の戦略的コアファシリティ2024」
 ～私立大学が整備する多様なコアファシリティの役割と意味、産官との連携～

日時：2024年1月24日（水）10:00～12:05
 開催方法：Zoomによるオンライン開催（無料）

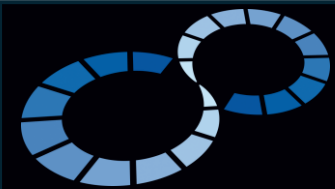
多くの学生の高等教育を担う私立大学は、国立大学とは多くの違いがあり、多様で特色ある経営を実施している。特に研究の環境やコアファシリティなどにも、それぞれ大学の特徴があり、戦略的な整備をしてきている。

特徴ある取組みや工夫の数々が紹介されたほか、私立大学ならではの課題等についても議論された。

主催：早稲田大学
 共催：東京理科大学、東海大学、JAIMA CORE



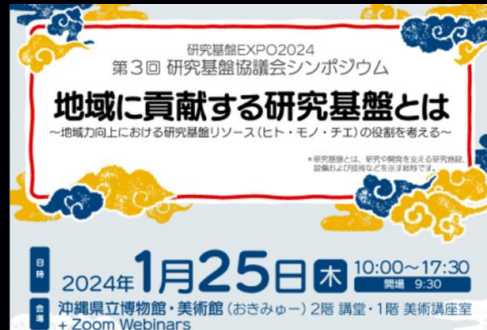
◇総申込者数：420名
 ◆実参加者数：282名



2024年1月25日

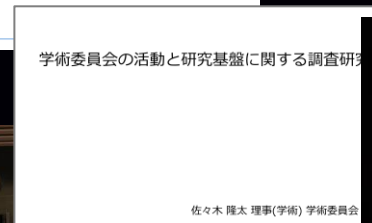
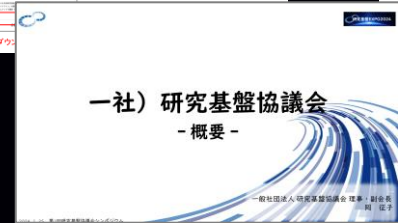
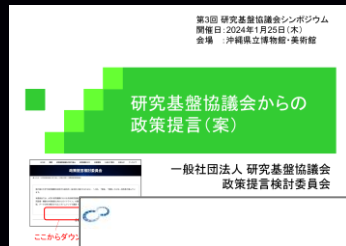
琉球大学

第一部 研究基盤協議会 活動報告



昨今、様々な地域活性化の取組みが行われる中で、地方大学にも積極的な社会・地域貢献が求められている中で、大学の研究教育を支える研究基盤においても、地域の課題解決等にどのように貢献できるのかを考える必要がある。研究基盤リソースによる専門人材の育成や研究技術（ナレッジ）の提供、各種研究機器・設備の学外利用等の多角的な観点から議論が行われた。

主催：琉球大学
共催：CORE



ポスターセッション

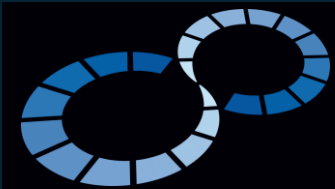


第二部



◇申込者数：382名
現地参加：89名
オンライン参加：293名

◆実参加者数：348名
現地参加：101名
オンライン参加：247名



2024年1月26日 技術職員コンソーシアム

研究基盤EXPO2024

**一般社団法人
研究基盤協議会 共創の場 企画セッション**

日程: 2024年1月26日(金)
会場: 沖縄県立博物館・美術館、オンライン(Zoom)

**13:30-15:00 技術職員が見える、技術力を魅せる
～技術人材活用戦略「技術スキルの見える化」を考える～**
一般社団法人研究基盤協議会 技術職員コンソーシアム(TAMARIBA)
これまでの議論を踏まえ技術職員の「見える化」をテーマに、技術情報の集約による教育・研究促進、人材獲得など、技術人材活用戦略への可能性について議論します。

15:10-16:40 ONE TEAM 若手が考える研究支援体制
一般社団法人研究基盤協議会 若手ネットワーク
研究環境を現場から改善していくために、研究者と研究を支える専門人材同士で課題を共有し、若手の視点から研究基盤の強化及び今後の活動について議論します。



◇総申込者数
: 409名

現地参加 : 47名
オンライン参加
: 362名

ファシリテーター



金沢大学 杉山博則

パネリスト



琉球大学 屋良朝宣



金沢大学 長井圭治



北海道大学 永井謙芝

司会



琉球大学 勢理客勝則

開会挨拶



鳥取大学 森本稔

講評



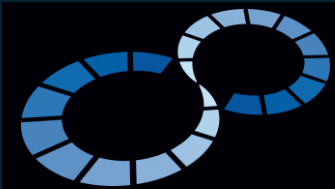
豊橋技術科学大学 小野悠

閉会挨拶



東北大学 安東真理子

主催 : CORE



2024年1月26日

若手ネットワーク

パネリスト



東京工業大学 江端新吾



豊橋技術科学大学 小野悠



名古屋工業大学 服部崇哉



大阪大学 植原邦佳



琉球大学 廣瀬孝三郎



神戸大学 松本香

司会



鳥取大学 横野瑞希

ファシリテーター



富山大学 川谷健一

講評



科学技術振興機構 永野智己

研究基盤EXPO2024

一般社団法人
研究基盤協議会 共創の場 企画セッション

日程: 2024年1月26日(金)

会場: 沖縄県立博物館・美術館、オンライン(Zoom)

13:30-15:00 技術職員が見える、技術力を魅せる
～技術人材活用戦略「技術スキル見える化」を考える～
一般社団法人研究基盤協議会 技術職員コンソーシアム(TAMARIBA)
これまでの議論を踏まえ技術職員の「見える化」をテーマに、技術情報の集約による
教育・研究促進、人材獲得など、技術人材活用戦略への可能性について議論します。

15:10-16:40 ONE TEAM 若手が考える研究支援体制
一般社団法人研究基盤協議会 若手ネットワーク
研究環境を現場から改善していくために、研究者と研究を支える専門人材同士で
課題を共有し、若手の視点から研究基盤の強化及び今後の活動について議論します。



主催: CORE

◇総申込者数: 361名
(現地参加: 41名、オンライン参加: 320名)



2024年1月26日 クロージング

1週間の振り返り



一般社団法人研究基盤協議会
理事・副会長
岡 征子 (北海道大学)



講評



文部科学省科学技術
学術政策局研究環境課 課長
稲田 剛毅

閉会挨拶



一般社団法人研究基盤協議会
理事・副会長
植草 茂樹 (東京工業大学)

集合写真



ご参加いただき
ありがとう
ございました

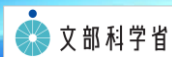
研究基盤EXPO2024実行委員会

委員長	江端 新吾	(東京工業大学)
副委員長	岡 征子	(北海道大学)
副委員長	昆 健志	(琉球大学)
副委員長	田邊 彩乃	(文部科学省)
委員	稲角 直也	(大阪大学)
委員	佐々木 隆太	(北海道大学)
委員	堀 格郎	(岡山大学)
委員	松見 吉朗	(東京工業大学)
委員	丸山 浩平	(早稲田大学)
委員	横野 瑞希	(鳥取大学)
委員	渡邊 政典	(山口大学)

主催



共催



協力



後援

